
私と馬鹿達と召喚獣

南瓜プリン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私と馬鹿達と召喚獣

【Zコード】

N6194Z

【作者名】

南瓜プリン

【あらすじ】

もし、明久がアキちゃんだったら、という小説です。
アニメ沿いで進めて行こうと思います。

カツプリングはFクラスメンバーの誰か?と言つ事で
馱文ですが読んでいただいたら幸いです。

第1問 一年連續で担任だったら不幸な気がする（前書き）

バカテスの小説は初投稿です。よろしくおねがいします。

第1問　一年連續で担任だったら不幸な気がする

私がこの文月学園に入学してから、一度目の春が訪れた。

ふと、この道何回通つただろ? 何て考えたりするが馬鹿馬鹿しくなり考えるのをやめる、

そして暫く歩くと何回通つただろ? と思つ文月学園が見えてきた

「遅刻ですよ、吉井さん」

校門で高橋先生に呼び止められる、高橋先生は知的な眼鏡が特徴で去年の担任だった先生なんですが

「あ、高橋先生おはようございます。こんな遅くびづしたんですか?」

「それはあなたが遅刻するからここで待つていたんですね。」

冷静なようじゆうじゆうと怒つている感じの言い方をする高橋先生やつぱりじつこう先生は苦手。

「あはは、すいません遅れました」

「あははじや無いです、大体あなたは何時も何時も……」

【暫くお待ち下さい】

..... 分かりましたか?」

「はいはい分かりました。で、先生は私に説教するため遅くまで待つ
つていってくれたんですか?」

「ああそうでした。はいクラス通知です。」

「あ、ありがとうございます。」

一応礼をして受け取る

「開けなくともAクラスですよ吉井さん、ホームルームが始まりま
すから早く教室に行つて下さい」

と言われて行かないのはまずいので教室に向かう事にした。

「何?この馬鹿でかい教室」

私は今日から自分のクラスになる教室を見て驚愕していた
プラススマディスプレイにノートパソコン、個人工アコン、冷蔵庫、
リクリエイニングシート
これが教室にあって驚かないのは翔子ぐらいだらう。

「おっ！アッキーおはよつ今日も遅刻？早く席に着かないとH.R.始まるよ」

教室に入るとボーアイッシュな女の子で私の親友の工藤愛子が話しかけて来る

「おはよづ、私の席は何所？」

「アッキーは一番後の出口側だよ」

「愛子は？」

「アッキーの前、よろしくね」

そして席に座り、愛子と話をしていると高橋先生が教室に来た

「皆さん進級おめでとうございます。私はこの一年A組担当の高橋洋子です。」

はあ～、また高橋先生が担任か嫌だな～

「まずは設備の確認をします。ノートパソコン、個人工アコン、冷蔵庫、リクライニングシート

その他の設備に不備がある人はいますか？」

「はい」

「吉井さん、どこが不備ですか？」

「先生です」

「では、始めにクラス代表を紹介します。霧島翔子さん。前に来てください。

あと吉井さんは観察処分者としての仕事が有りますから放課後残るよ！」

今さらつと受け流したと見せかけて仕返しをする、何て汚い先生なんだろ？

「……霧島翔子です。よろしくお願ひします」

さすがは翔子、顔色変えずに淡々と自己紹介をする。

「では、右の席の人から自己紹介をしてください。」

右からという事は私は一番最後か、嫌だなあ変に注目されるし

「上坂晃です。水泳部に所属しています。一年間よろしく

はあー、コイツもAクラスか、困ったな

去年は「コイツのお陰でずいぶん疲れた
などと愚痴つていると次々に自己紹介が終わっていく

気が付いたら私の番が来た

「えー、吉井秋です。一応水泳部に入っています。

好きな事はゲーム、嫌いな物は男子です。よろしくお願ひします」

私が自己紹介すると辺りがざわつく、まあそれもそつだらう普通自己紹介で男子が嫌い
何て言う人はまずいない

「あはは、アツキー言つね～まだ男子嫌い直つてないの？」

「直す気なんて無いけどね。」

「Aクラスの皆さん。これから一年間、霧島さんを代表にして協力
し合ひ、研鑽を重ねて下さい。」

これから始まる『戦争』で、何所にも負けないよう

負けないようになって、いきなりAクラスに戦争仕掛ける馬鹿は居ないだろう

と思つたがそんな馬鹿が居た事を直ぐに知る事になる。

観察処分者としての仕事?何それおいしいの?

第1問 一年連續で担任だったら不幸な気がする（後書き）

カップリングは
Fクラスメンバーの誰かですが。
アンケートで決めたいと思います。

須川 （笑）とかでもいいよ。

キャラ設定（前書き）

そのまんまです

キャラ設定

吉井
よしい
秋
あき

・文月学園2年Aクラス

・外見、アキちゃん。バカテス原作の7・5巻参照

- ・一応水泳部に所属はしているが8割方サボっている。
過去に色々あり男子が嫌い。しかし晃とは普通に話せる。別に好きでは無い。

・友達は翔子、愛子、腐女子な優子は微妙

- ・喧嘩は強く、一年の時、鉄人とリアルファイトをした時に観察処分者になった。

上坂晃
うえさかあきひら

・文月学園2年Aクラス

・外見、上条さん

- ・姫路のことが好きで秋に手伝つて貰つている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6194z/>

私と馬鹿達と召喚獣

2011年12月20日20時56分発行